

第2回 Iwatan 親子フェスタ

◆日時：平成 25 年 1 月 26 日(土) 9:45~12:00

◆会場：岩国短期大学 講堂及び周辺教室

◆プログラム：

(I) オープニングセレモニー

- ① 学長挨拶 岩国短期大学 学長 新庄方子
- ② 学生実行委員挨拶 幼児教育科 1 年 源内いずみ
- ③ スタンプラリーについての説明
- ④ アンパンマン体操
- ⑤ くす玉割り開始 (スタンプラリー開始の合図として)

(II) スタンプラリー (企画コーナー)

- ・皿回し、けん玉
 - ・子育てカルタ
 - ・親子で健康ダンス
 - ・段ボール迷路
 - ・おもしろ科学
 - ・パネルシアター
 - ・宝探し
 - ・遊び広場
 - ・ボール投げ
 - ・魚釣り、輪投げ
 - 計 10 コーナー
- <その他> カプラコーナー、託児所

※参加者総数 276 名

<当日の活動の概要>

(I) オープニングセレモニー

9 時 45 分、予定通りオープニングセレモニーを開始した。

初めに岩国子育て支援ネットワーク (Iwatan 子育て愛ねっとアカデミー) 委員長であり、本学学長である新庄方子より挨拶があった。引き続き、学生実行委員挨拶、スタンプラリーについての説明がなされた。

引き続き学生によるアンパンマン体操のパフォーマンスが行われた。



(Ⅱ) スタンプラリー・各企画コーナー

【皿回し・けん玉コーナー】

学生が授業で習っている皿回し用のトレイ・けん玉を使用した。また、小さい子どものために、学生手作りのけん玉も用意した。親子で挑戦する様子が見られた。



【子育てカルタコーナー】

学生が「子育てカルタ」を自作した。幼児教育科 1 年生全員が子どもの成長や生活を題材とした読み札を考え、絵札は、このコーナーを担当した 1 年生 6 名が、冬休みを利用しながら 44 枚の絵札を完成させた。



【親子で健康ダンスコーナー】

親子で楽しめる（触れ合える）ダンスを学生提案したところ、選曲から振付まで全て自分たちで企画し準備したのがこのコーナーである。参加者のアンケートの中にも、親子で体を動かすことができ楽しかったという声が聞かれた。ぞうやライオンなどの動物のマネをするダンスを学生が前で手本を見せながら、親子でダンスを楽しんだ。



【段ボール迷路コーナー】

1m×3mの段ボールを2枚使って、1.5m四方の升を16個作っての段ボール迷路。組み立てから穴開けまで大変な準備であった。通り穴には、スズランテープですだれを作り、ゴールが見つかりにくいように工夫している。簡単なルートと思われたが、何度も挑戦する子どもたちもあり大変好評であった。



【おもしろ科学コーナー】

簡単な科学実験を通して、親子がふれあうコーナーである。浮沈子やのぞきメガネの 2 種類の製作を行う。学生が製作のサポートを行った。入口に見本を置いていたので、参加者の興味を惹いた。



【パネルシアターコーナー】

「3匹のこぶた」「ぼうしやさん」「へんしん」の 3 つの演目を交互に上演した。学生が演じるパネルシアターを子どもたちは、食い入るように観賞した。語りと人形の操作、電子オルガンの演奏に合わせることは、慣れないとかなり難しいため、前日遅くまで練習を行った。



【宝探しコーナー】

ルールは、親子で風船を割る。風船の中に入っていた動物と同じカードを磁石でのつり遊びの場所で釣り上げたら景品がもらえるというものである。親子で風船を割るゲームは簡単そうで難しく、そのためうまく風船が割れたときは歓声があがった。



【遊び広場コーナー】

このコーナーは、「ペットボトル空気砲による的当てゲーム」「ボーリングゲーム」「キャッチアンドスローゲーム」の3つのゲームの場所が設定してある。3つをクリアするとスタンプがもらえる。担当の学生の丁寧な説明と身近な素材を使ったおもちゃが子どもの笑顔を引き出していた。



【射的・ボール投げコーナー】

割りばしで作ったゴム鉄砲での射的コーナーと新聞紙のボールを洗濯ばさみで吊った的に当てるコーナー。準備の段階で、どのくらいの距離が一番適しているのかを考えた。子どもたちにとって親しみやすいゲームのため盛況であった。



【魚釣り・輪投げコーナー】

磁石を糸の先につけた釣り竿で、魚を釣るゲームと輪投げと両方で成功すると、スタンプと手作りのメダルをもらえるコーナーである。輪投げは、色水の入ったペットボトルを使い、これまでにない輪投げゲームの装置となった。



【その他のコーナー】

スタンプラリーのための 10 コーナーの他、「託児所」「遊びコーナー」「カプラーコーナー」を設けた。



託児所の様子



託児係の学生の遊びコーナーでの様子



景品を渡す受付場所の様子



カプラコーナーでの参考作品作りに励む学生

正午12時過ぎに、予定通りに無事終了となった。各コーナーを担当した学生が持ち場で片付けを行った。各担当コーナーを中心にスムーズに片づけられた様に思われる。1時間弱で片付けが終了し、教員による講評、連絡、注意がなされ、午後1時過ぎには解散となった。

講評でも述べられていたように、準備段階での学生の取り組みや、フェスタ本番での子どもたちとのふれ合いが、今後の学生生活に繋がるような取り組みになったのではないと思われる。